

新規	スマートウェルネスシティ推進業務 〔予算額 1,616千円〕	保健部健康増進課 健康増進係(23-6639)
財源内訳	国庫支出金 345千円、県支出金 221千円、一般財源 1,050千円	
支出内訳	4款1項1目 保健衛生総務費／講師等報償金 39千円、特別旅費 259千円、消耗品費 122千円、印刷製本費 198千円、生活習慣病対策委託料 420千円、機械器具購入費 270千円、職員研修負担金 308千円	

「歩いて健康」「食べて健康」を合言葉に スマートウェルネスシティの考え方を取り入れた健康づくりを推進します。

健康おかざき21計画のスローガンである「健やかで心豊かなまち おかざき」の実現に向けて、健康的に暮らしたいと思う市民が健康づくりを積極的に行えるよう支援するだけでなく、健康づくりに無関心であっても「そこに暮らすだけで健幸になれる」スマートウェルネスシティの考え方を取り入れた、まちづくりと融合した健康づくりを展開していきます。

歩いて健康

～歩きたくなる、歩いてしまうまちづくりの取組～

歩く程度の運動で身体活動量の増加を狙う！

- 乙川リバーフロント整備地区や商業施設などでウォーキングイベントや健康づくりイベントの開催
- 新規のウォーキングルートの設定、マップの整備



食べて健康

～野菜を食べる、健康的に食べ歩くための取組～

野菜摂取量の増加を狙う！

- 市内飲食店でのヘルシーメニュー提供イベントの開催
- 菓子店と協働したベジタブルスイーツメニューの開発

〈ヘルシーメニュー〉



〈ベジタブルスイーツメニュー〉



小中学生によるベジタブルスイーツ
コンテスト入賞者と菓子店の協働

市墓園整備業務〔予算額 18,468 千円〕		保健部保健企画課 施設整備係(23-6182)
財源内訳	一般財源 18,468 千円	
支出内訳	4款1項7目 墓地管理費／整備運営手法検討委託料 5,508千円、基本設計委託料 10,800千円、墓園造成工事請負費 2,160千円	

■ 平成32年度の新区画供用開始をめざし、造成工事を開始します。



工事概要

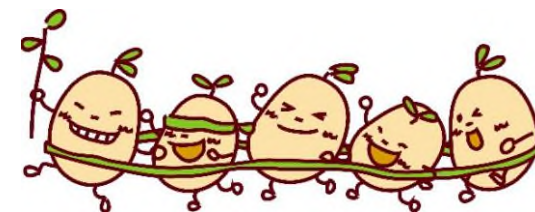
- ・ 工事期間:2か年(平成30年度～31年度)
- ※ 平成30年度は、都市計画法における事業認可、保安林解除手続きが終了後、準備工、樹木伐採工を実施します。
- ・ 造成区画予定数 : 1,600区画(2型)
- ・ 駐車場、トイレの整備を行います。

■ 岡崎墓園の今後の整備・運営手法、施設の規模、合理化について検討を行います。 **新たな取組**

- ・ 整備・運営手法への民間活力の導入を視野に入れた事業範囲、事業手法などの検討を行います。
- ・ 施設の適切な規模及び合理化並びに合葬式墓地の建設について検討を行います。

拡充	予防接種業務〔予算額 1,327,280 千円〕	保健部生活衛生課 感染症対策係(23-6714)
財源内訳	県支出金 6,941千円、一般財源 1,320,339 千円	
支出内訳	4款1項3目 予防対策費／委員報酬 32千円、費用弁償 2千円、特別旅費 44千円、消耗品費 465千円、印刷製本費 1,068千円、賠償補償保険料 738千円、審査支払手数料 60千円、四種混合等予防接種委託料 202,966千円、ポリオ予防接種委託料 2,183千円、麻しん風しん予防接種委託料 87,626千円、日本脳炎予防接種委託料 126,202千円、BCG予防接種委託料 32,708千円、子宮頸がん予防接種委託料 1,476千円、ヒブ予防接種委託料 149,052千円、小児用肺炎球菌予防接種委託料 197,963千円、インフルエンザ予防接種委託料 221,309千円、高齢者肺炎球菌予防接種委託料 74,086千円、水痘予防接種委託料 79,496千円、ロタ予防接種委託料 29,910千円、B型肝炎予防接種委託料 89,779千円、おたふくかぜ予防接種委託料 7,049千円 予防接種予診委託料 53千円、通知書封入封緘委託料 4,418千円、住民健康管理システム保守委託料 1,100千円、住民健康管理システム改修委託料 857千円、風しん予防対策事業費補助金 3,510千円、予防接種扶助費 3,846千円、予防接種健康被害者対策費 9,282千円	

「定期予防接種」の全て、「任意予防接種」の一部について、岡崎市医師会等に委託し実施します。
 先天性風しん症候群の発生防止のための風しん抗体検査・予防接種費用の補助、定期の予防接種による健康被害のうち厚生労働大臣が認めたものについて、医療費や年金等の給付を行います。



新規

おたふくかぜ予防接種(7,049 千円) 岡崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

おたふくかぜの合併症である難聴の発生を防ぐこと等を目的として、
 予防接種費用の一部を助成します。

- ◆対象者：1 歳児
- ◆助成方法：対象者は保健所から送付された接種券を使用し、
 医療機関で市の助成額を除いた費用を支払い、接種を受けます。



【病院事業】地域医療体制の充実〔予算額 1,109,705千円〕(人件費を除く。)		市民病院事務局総務課 経営管理係(66-7015)
財源内訳	一般会計負担金 139,883千円、企業債 249,000千円、県補助金 295千円、自己財源 720,527千円	
支出内訳	病院事業会計(収益的支出) 1款1項6目 研究研修費／謝金 3,073千円、図書費 25,316千円、旅費 32,517千円、研修委託費 6,881千円、研究雑費 18,304千円 (資本的支出) 1款1項1目 建設改良費／委託料 34,844千円、工事請負費 407,831千円 1款1項2目 資産購入費／器械備品購入費 545,239千円 1款2項1目 長期貸付金／看護師等修学資金貸与金 35,700千円	

救命救急センターを有し、第3次救急医療を担う地域の中核病院としての医療水準の確保及び多様化、高度化する医療ニーズに対応する機能の充実を図ります。また、更新時期を迎えた施設や設備の更新にも取り組みます。

医療機器の充実

〔予算額 545,239千円〕

最新機器を導入し、市民に高度な医療を提供できる病院として、信頼に応えていきます。

- (1) 検査用 磁気共鳴断層撮影装置 始め 69 品目
- (2) 手術用 光学式磁場式手術支援用
ナビゲーションシステム 始め 19 品目
- (3) その他 超音波洗浄機大型煮沸槽 始め 45 品目

施設や設備の更新

〔予算額 442,675千円〕

平成 10 年度に移転新築して 19 年が経過し、更新時期を迎えた施設や設備を計画的に順次更新していきます。

平成 30 年度は、空調熱源改修を行うほか、ハンディナース交換機設備更新や正面玄関前ロータリー外構改修などの各工事、PET-CT 撮影装置導入に向けた施設改修設計業務や老朽化した厨房の改修方針を定めるための基本設計などの各業務を行います。



医療スタッフの確保と育成

〔予算額 10,988,349千円〕

（人件費 10,866,558千円、研究研修費86,091千円、修学資金貸与金 35,700千円）

地域住民に高度な医療を提供するための最重要課題は、病院の経営基盤としての「医療スタッフの確保・育成」です。医師・看護師不足は全国的な問題となっていますが、労働環境等の改善と病院自体のステータス向上を図り、人材を確保するとともに、研修・教育環境を整え、将来の地域医療を担う人材の育成に努めます。

○スタッフの確保

- ・ 合同説明会等により医学生に当院の魅力をアピールして優秀な研修医を獲得する。
- ・ 看護師の病棟での深夜勤務について4人体制を目指し、看護学生への修学資金貸与制度を活用するなど計画的な看護師確保に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスのとれた職場環境の実現により離職防止を図る。
- ・ 医療職の採用試験を病院独自で実施し、優秀な人材の確保に努める。



○スタッフの育成

- ・ 臨床研修指定病院として、豊富な症例と熱意ある指導医のもと次世代の地域医療を担う医師の育成に励む。
- ・ 接遇や目的別の研修を計画的に実施していくほか、医療スタッフを幅広い医療知識等を習得・発表する学会や研修会等に参加させ、キャリア開発とスキルアップを図る。
- ・ 専門性の高い認定看護師等の育成・確保のため、必要な資格取得・維持について支援していく。
- ・ 医療系書籍、雑誌（Web版を含む。）の充実を図り、最新医療情報の提供体制を整える。



救急医療拠点施設整備支援業務〔予算額 2,000,000千円〕		保健部保健企画課 地域医療施策推進係(23-6990)
財源内訳	繰入金 1,000,000千円、一般財源 1,000,000千円	
支出内訳	4款1項1目 保健衛生総務費／土地購入費 1,000,000千円、救急医療拠点施設整備費補助金 1,000,000千円、	

岡崎市及び西三河南部東医療圏における救急医療体制の充実を目指して、平成32年4月に開院予定の学校法人藤田学園が進める藤田保健衛生大学岡崎医療センターの整備に対する支援を行います。

【支援内容】

土地購入費

〔予算額 1,000,000千円〕

土地購入費 30億5千万円(平成29～31年度の3年間分割払)
岡崎駅南土地区画整理組合から購入した土地を病院用地として、
10年間無償貸与します。

救急医療拠点施設整備費補助金

〔予算額 1,000,000千円〕

救急医療拠点施設(緊急な入院又は手術に対応できる救急医療
を常時実施する病院)の整備費補助金(上限 50億円)のうち、
平成30年度分(工事出来高による概算払)を交付します。



地域福祉推進業務〔予算額 15,509千円〕		福祉部地域福祉課 総務施策係(23-6922)
財源内訳	国庫補助金 11,458千円、一般財源 4,051千円	
支出内訳	3款1項1目 社会福祉総務費／委員報酬 224千円、費用弁償 5千円、食糧費 3千円、地域力強化推進事業委託料 15,277千円	

【事業概要】

○地域力強化推進事業の委託（委託先：社会福祉法人岡崎市社会福祉協議会）

新たな取組

複合化した課題を抱える個人や世帯に対する支援や、社会的な孤立を生むごみ屋敷問題など、既存制度では解決が困難な課題への対応が求められています。そこで、住民の身近な圏域において住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制や、地域住民による支え合いと公的支援が連動した包括的支援体制の構築を目指します。

【取組内容】

○住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制

づくりを支援します。（「我が事」の地域づくり）

- ・ 空き家等を活用した活動拠点づくりの支援
- ・ 研修会や地域福祉講座などによる意識の醸成

○福祉に関する相談を包括的に受け止め支援する体制の

構築を目指します。（「丸ごと」の地域づくり）

- ・ CSWを本庁及び額田センターに1名ずつ配置
- ・ 地域課題を把握するための座談会の開催

※CSW＝コミュニティソーシャルワーカー



障がい福祉サービス費等支給業務〔予算額 4,348,700千円〕		福祉部障がい福祉課 審査給付係(23-6293)
財源内訳	分担金及び負担金 79千円、国庫支出金 2,171,839千円、県支出金 1,085,919千円、一般財源 1,090,863千円	
支出内訳	3款1項3目 障がい者福祉費／障がい福祉サービス費等審査支払手数料 4,914千円、医療費審査支払手数料 30千円、障がい福祉サービス費 4,310,684千円、療養介護医療給付費 31,976千円、高額障がい福祉サービス費 364千円、知的障がい者援護施設等措置費 732千円	

【事業概要】

障がい者、障がい児が円滑な日常生活を送ることを目的とし、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に定められた障がい福祉サービス等に係る費用を支給すること。

【主なサービス】

介護給付費

居宅介護（ヘルパー）
生活介護（デイサービス）
短期入所（ショートステイ）
施設入所支援 など

訓練等給付費

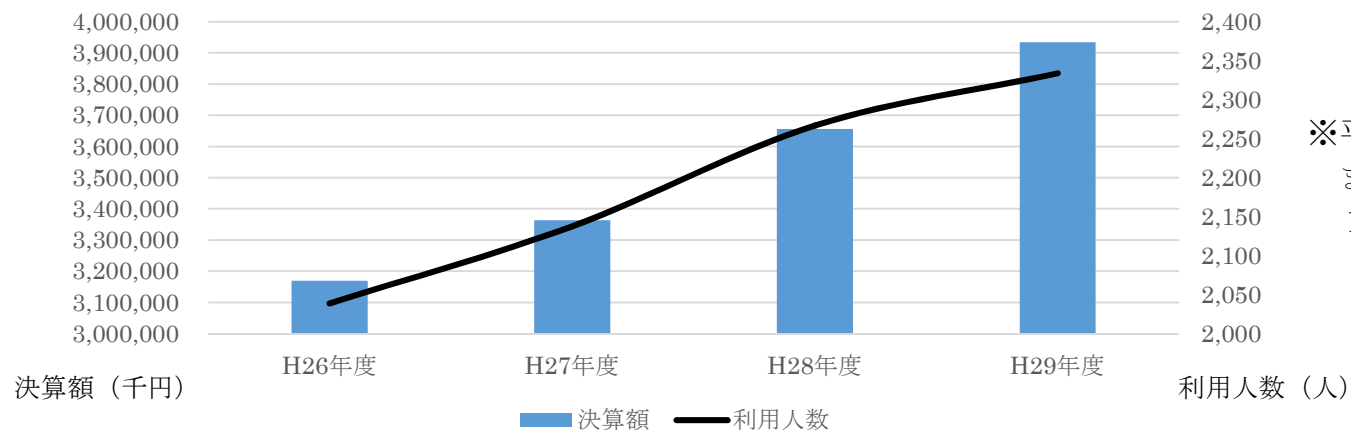
共同生活援助（グループホーム）
自立訓練
就労移行支援
就労継続支援

新規

H30～

就労定着支援・自立生活援助

【動向】



※平成29年度の決算額は見込額。
また、利用人数は各年度4月1日時点の決定者数。

障がい者福祉施設整備事業補助業務〔予算額 240,935千円〕		福祉部障がい福祉課 施策係(23-6163)
財源内訳	国庫支出金 160,623千円、一般財源 80,312千円	
支出内訳	3款1項3目 障がい者福祉費／障がい者福祉施設整備事業費補助金 240,935千円	

障がい者福祉施設等の施設整備に係る費用の一部を補助します。

【事業概要】

社会福祉法人等が設置する障がい者福祉施設の施設整備に要する費用の一部を補助し、施設利用者の福祉の向上を図ります。

【補助予定（2箇所）】

- ① サービス種別：就労継続支援B型（整備後は多機能型〔生活介護・就労継続支援B型〕）

定員：30人（整備後は35人）

整備内容：改築

施設所在地：板屋町

- ② サービス種別：就労継続支援B型

定員：20人（整備後は25人）

整備内容：移転改築

施設所在地：山綱町（現在は舞木町）

就労継続支援B型とは、一般就労が困難な障がいのある方が通い、就労や生産活動の機会を通して訓練したり、支援を受ける施設です。

生活介護とは、常時介護が必要な障がいのある方が通い、入浴や食事等の介護を受けたり、生産活動を行う施設です。

新規	友愛の家整備運営業務〔予算額 636,057千円〕	福祉部障がい福祉課 施策係(23-6163)
財源内訳	国庫支出金 1,619千円、県支出金 810千円、使用料及び手数料 638千円、諸収入 2,786千円、市債 258,000千円、一般財源 372,204千円	
支出内訳	3款1項4目 障がい者福祉施設費／通信運搬費 99 千円、友愛の家維持管理・運営委託料 79,573千円、PCB廃棄物処分委託料 353千円、施設購入費 540,826千円、機械器具購入費 610千円、施設予約システム負担金 29千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 14,567千円	

地域と障がい者がつながる場所 福祉の村「友愛の家」

【事業概要】

○地域活動支援センター

障がいのある方が楽しみや生きがいを持って生活できるような講座の提供や、障がいのある方が中心となれるイベントなどを開催します。(年間100種類ほどの定期講座・単発講座を開催)

※障がい者の支援者向け講座も開催します。

○基幹相談支援センター

地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを運営し、障がい児・者の相談支援の総合拠点としての機能を果たしていきます。

また、障がい者虐待防止センターも併せて運営いたします。

○交流スペース

来館者同士の交流や、くつろぎの場所として、どなたでも御利用いただくことができます。

また、喫茶スペースも併設いたします。

○講座等で使用しない部屋を有料で貸し出します。

○立体駐車場 53台



バリアフリーに配慮した改修を行いました。

障がい児通所給付費等支給業務〔予算額 1,433,153千円〕		福祉部障がい福祉課 審査給付係(23-6293)
財源内訳	国庫支出金 715,190千円、県支出金 357,595千円、一般財源 360,368千円	
支出内訳	3款3項1目 児童福祉総務費／障がい児通所給付費等審査支払手数料 2,762千円、医療費審査支払手数料 10千円、障がい児通所給付費 1,428,116千円、 肢体不自由児通所医療給付費 807千円、高額障がい児通所給付費 1,458千円	

【事業概要】

障がい児の健やかな発達を目的とし、児童福祉法に定められた障がい児通所支援に係る費用を支給すること。

【主なサービス】

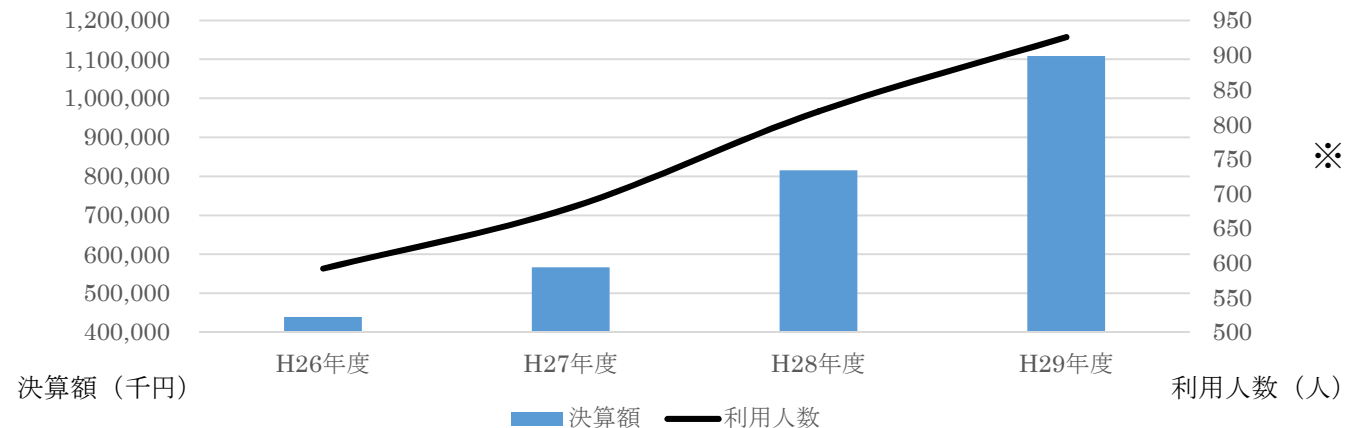
児童発達支援（就学前の障がい児に対する訓練等）
医療型児童発達支援（肢体不自由児等に提供する児童発達支援及び治療）
放課後等デイサービス（就学中の障がい児に対する訓練等）
保育所等訪問支援（障がい児の通う保育園等に対して支援）

新規

H30～

居宅訪問型児童発達支援

【動向】



※平成29年度の決算額は見込額。
また、利用人数は各年度4月
1日時点の決定者数。

新規	介護保険関係資格取得研修受講料等補助業務〔予算額 3,000千円〕	福祉部介護保険課 介護給付係(23-6682)
財源内訳	一般財源 3,000千円	
支出内訳	3款2項2目 老人福祉費／介護保険関係資格取得研修受講料等補助金 3,000 千円	

1 現状

政府の「ニッポン一億総活躍プラン」の目標のひとつが「介護離職ゼロ」です。これを実現するためには「介護の受け皿確保」「介護人材確保に向けた待遇改善」が必要ですが、施設で働く介護職員の人材確保が困難なことなどを理由に施設の整備が計画どおり進んでいません。また、厚生労働省の「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計」によると、少子高齢化に伴い、需要（要介護者）が供給（介護者）を上回っており、本市においても今年度の見込みで約500人の不足と推計しています。これも「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には更に深刻な状況になると考えられます。

2 事業概要

介護職員のキャリアアップを支援することにより、離職防止・定着促進を図るとともに、経験者の復職と新たな人材確保につなげるため、介護福祉士や介護支援専門員など介護サービス事業所で必要とされる資格について、当該事業所に所属する職員の資格取得のための研修受講料や受験手数料等の一部を補助するものです。

3 対象となる資格及び研修

- | | |
|-----------------|---------------------|
| (1) 介護職員初任者研修 | (5) 社会福祉士国家試験 |
| (2) 実務者研修 | (6) 介護支援専門員実務研修受講試験 |
| (3) 介護福祉士国家試験 | (7) 介護支援専門員実務研修 |
| (4) 認定介護福祉士養成研修 | (8) 主任介護支援専門員研修 |



4 補助金額

介護サービス事業所が負担した対象経費（資格取得のために必要な研修受講料及び受験手数料等）の2分の1の額（1事業所につき10万円を限度とし、百円未満の端数は切り捨てる。）

新規	児童養護施設整備補助業務 〔予算額 13,190千円〕	こども部こども育成課 施策係(23-6798)
財源内訳	一般財源 13,190千円	
支出内訳	3款3項1目 児童福祉総務費／児童養護施設整備費補助金 13,190千円	

児童養護施設「岡崎平和学園」の移転に当たり、施設利用者の福祉の向上のため、整備費の一部を補助します。

【移転予定地】

国正町字下川田（六ツ美南部学区）

【事業スケジュール】

平成30年8月着工予定

平成32年3月完成予定

【施設の概要】

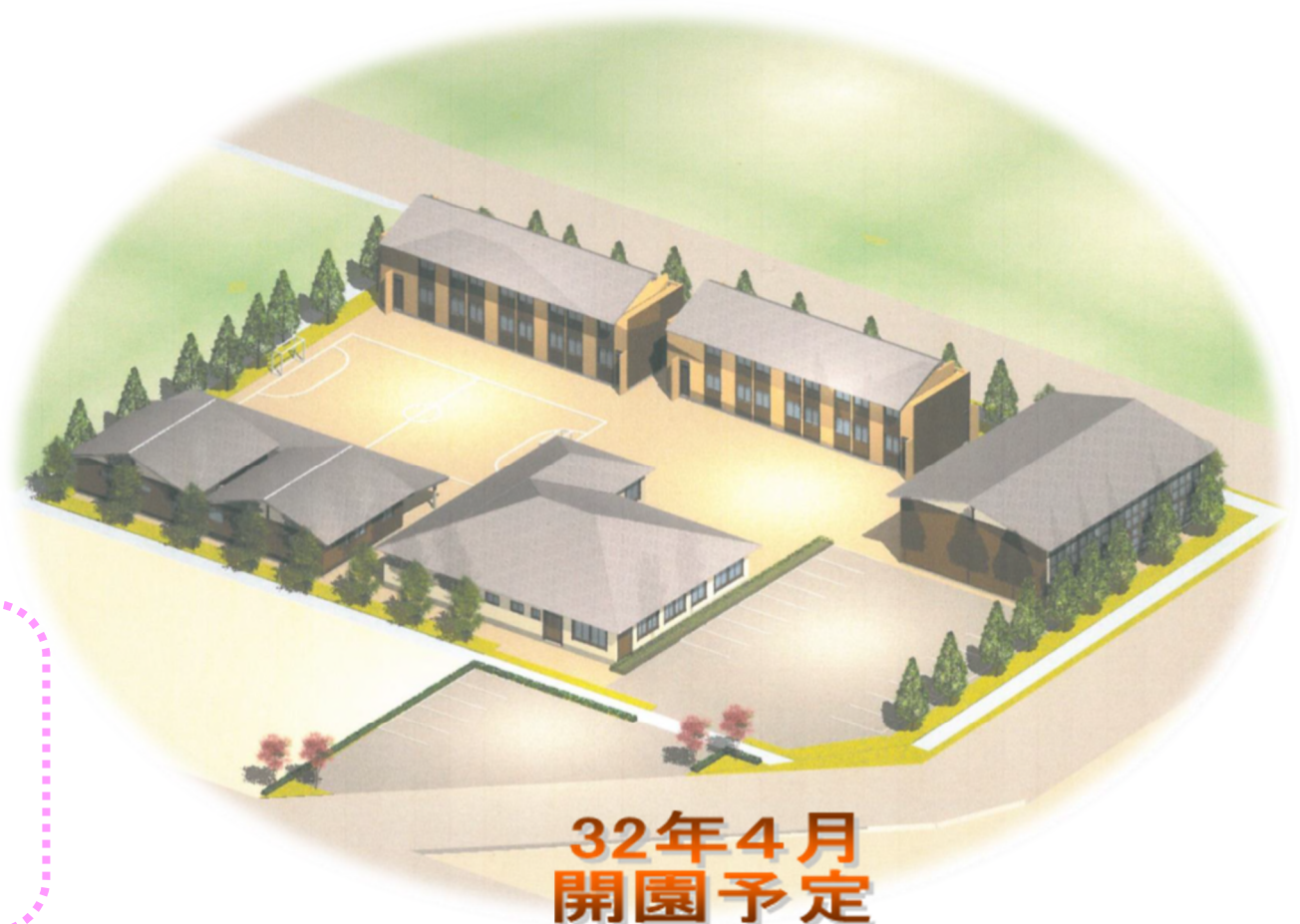
敷地面積 4,687㎡ 定員 36人（予定）

管理棟（子育て支援室、心理療法室等）

地域交流棟（一時避難所機能あり）

児童生活棟（幼児、男子、女子）

児童養護施設とは、保護者のいない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて自立のための援助を行うことを目的とする施設です。



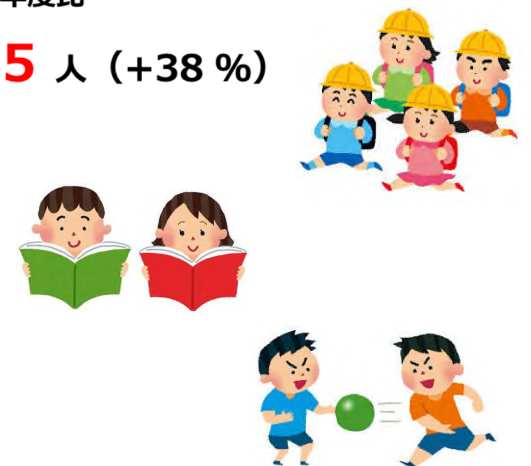
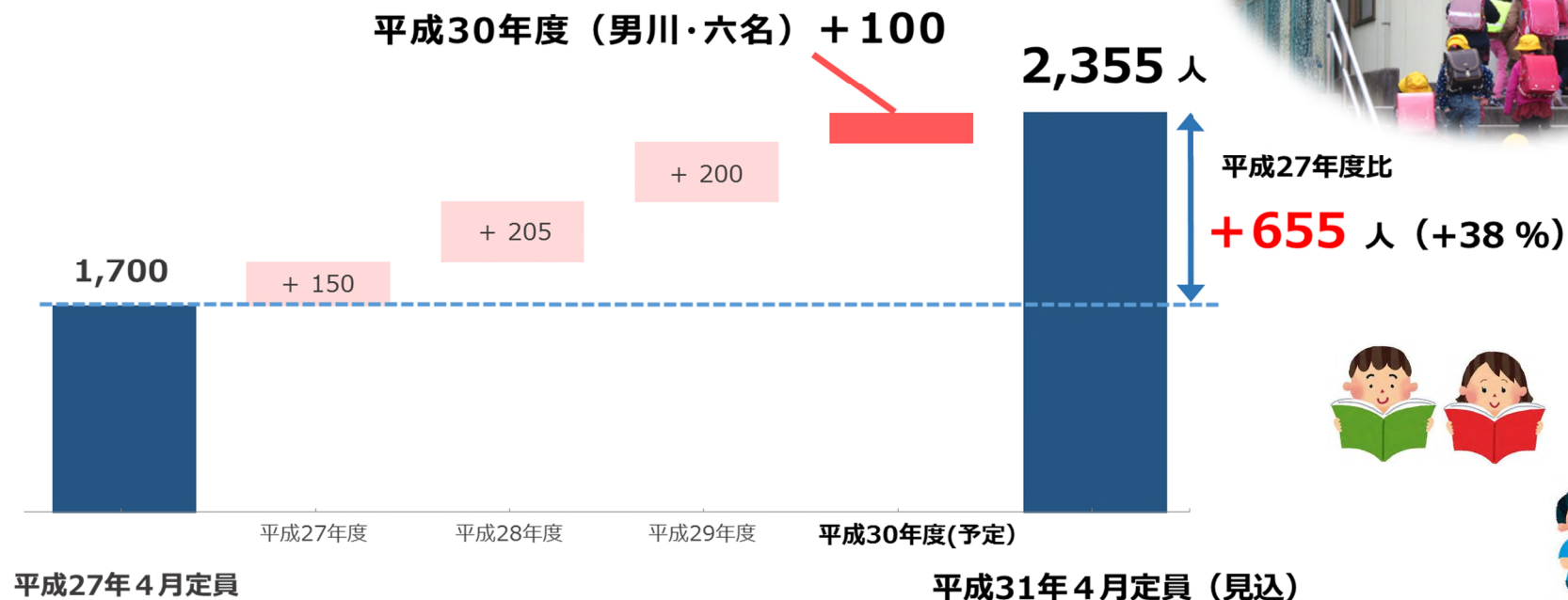
放課後対策施設整備業務〔予算額 88,265千円〕		こども部こども育成課 こども育成係(23-6221)
財源内訳	国庫支出金 30,342千円、県支出金 13,446千円、一般財源 44,477千円	
支出内訳	3款3項5目 放課後児童健全育成費／消耗品費 4,260千円、食糧費 3千円、医薬材料費 105千円、実施設計委託料 10,196千円、施設整備工事請負費 73,701千円	

留守家庭児童の放課後対策を推進するため、放課後児童クラブの整備を進めます。

拡充

待機児童が多く生じると予想される学区に児童育成センターを
増設します。(男川・六名学区)

▼参考：児童育成センター 施設整備の状況



私立保育園園舎建替等支援業務〔予算額 55,566千円〕		こども部保育課 管理係(23-6832)
財源内訳	国庫支出金 29,500千円、一般財源 26,066千円	
支出内訳	3款3項2目 児童措置費／私立保育園園舎建替等事業費補助金 55,566千円	

【業務概要】

私立保育園の健全な運営と園児の保育環境向上を図るために、園舎整備補助を行います。

◆私立保育園園舎建替等事業費補助

○岩津保育園

計画概要・・・園舎の増築に係る建設費に対して補助します。

平成30年度 園舎増築工事 ※単年計画（実施設計、地質調査等含む）

園舎増築の概要

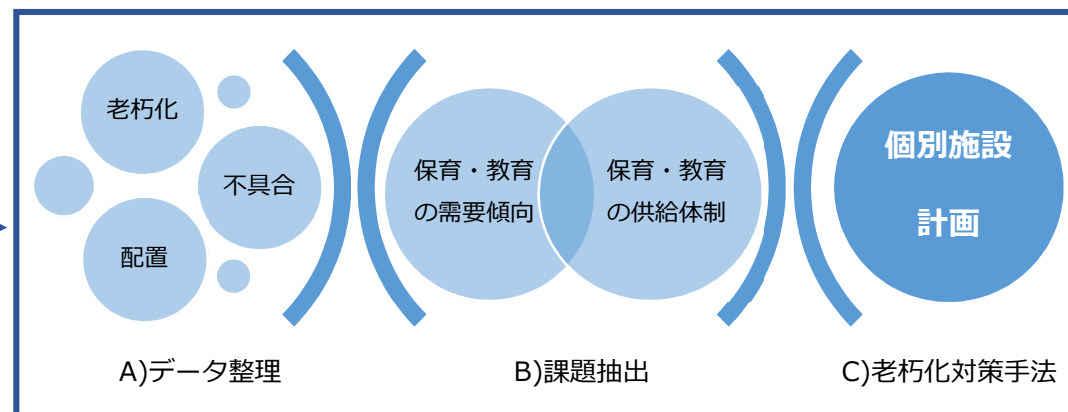
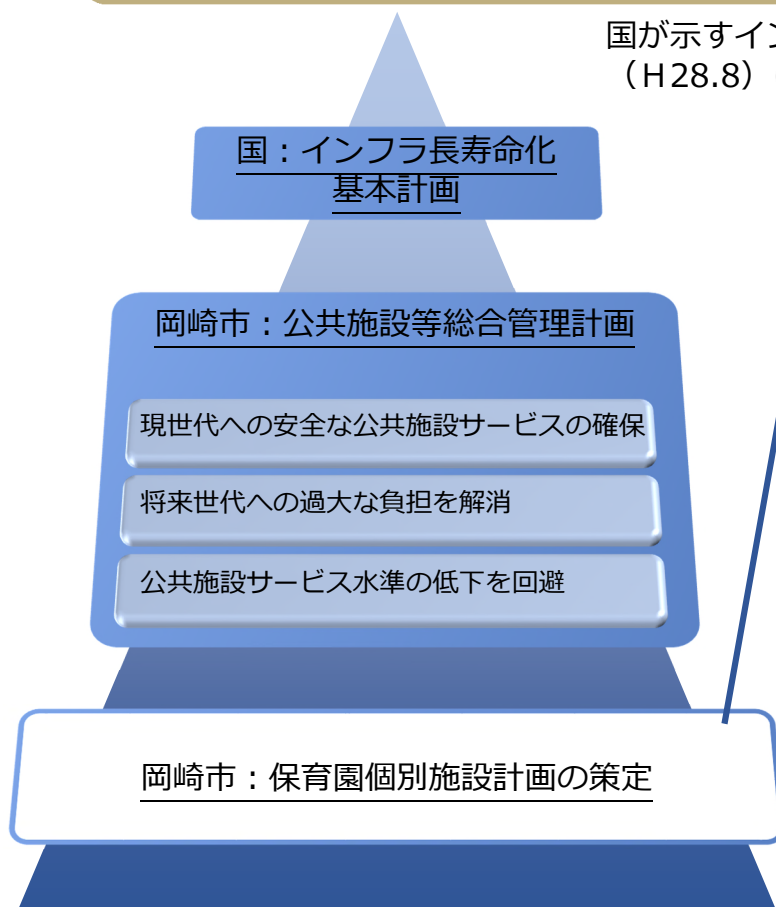
定 員	155人（35人増）
敷地面積	3,084.65㎡
建物構造	鉄骨造平屋建
延床面積	385㎡



新規	保育園個別施設計画策定業務〔予算額 3,855千円〕	こども部保育課 総務施設係(23-6175)
財源内訳	一般財源 3,855千円	
支出内訳	3款3項3目 保育園費／保育園個別施設計画策定委託料 3,855千円	

老朽化が進行する公立保育園（35 園）及びこども園（3 園）について、今後も安全かつ快適な保育・教育環境が提供できるよう、大規模改修・建替え・部分修繕等から最適な老朽化対策の手法を検討するとともに、保育需要を踏まえた施設の整備計画を策定します。

国が示すインフラ長寿命化基本計画（H25.11）や、市が策定した公共施設等総合管理計画（H28.8）に基づき、個別施設計画を策定します。



個別施設計画では、

- A) 老朽化に起因する施設不具合や施設配置状況を踏まえ、
- B) 施設需要傾向（今後の人口動向や保育・教育需要）や保育の供給体制に関する課題を抽出し、
- C) 各施設の老朽化対策手法を定めます。



新規	新設保育園整備業務 〔予算額 5,560千円〕	こども部保育課 管理係(23-6832)
財源内訳	一般財源 5,560千円	
支出内訳	3款3項8目 保育園建設費／測量委託料 300千円、物件調査委託料 5,260千円	

【業務概要】

岡崎地区における今後の保育需要の増加に対応するため、保育所の新設を進めます。

【事業スケジュール】

平成 30 年度	取得予定地の用地測量、取得予定地内の建物補償に係る物件調査等、 事業用地取得 保育園建設・運営事業者の選定
平成 31～32 年度	実施設計・園舎建設工事に対する助成（市補助金交付）
平成 33 年度	4 月開園（予定）



新規	一般被保険者医療給付費分納付金〔予算額 6,736,530千円〕	福祉部国保年金課 管理係(23-6678)
財源内訳	国民健康保険料 4,868,227千円、国民健康保険税 1千円、県支出金 283,490千円、諸収入 2千円、一般財源 1,584,810千円	
支出内訳	国民健康保険事業(事業勘定)特別会計 3款1項1目 一般被保険者医療給付費分／国民健康保険事業費納付金 6,736,530千円	

【概要】

平成30年度より都道府県も市町村とともに国民健康保険の運営を担うこととなります。国民健康保険の財政運営の責任主体は都道府県が担い、都道府県は市町村ごとの国民健康保険事業費納付金を決定し、市町村は都道府県に納付金を納める仕組みとなります。保険給付に必要な費用は、都道府県より交付金として市町村に交付されることとなります。

各種届出等の窓口は、これまでどおり市町村となります。

